

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	内田 保雄 UCHIDA Yasuo						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>専門演習Ⅲでは、テーマを決めて研究を行い、研究を行う上で必要となる、課題発見・設定・解決能力、関連情報の収集・整理能力、調査や実験結果の解析・分析能力、成果の報告・発信能力を養う。そのために、実地調査や実験など様々なアプローチにより研究を深化させるとともに、客観的な評価のために機会があれば学会発表等にも挑戦することを目指す。最終的には、研究成果を卒業論文としてまとめる。</p>						
授業の到達目標	<p>①研究テーマの社会的背景について調査し、研究計画を立て、研究テーマへの継続的な取り組みができる。 ②得られた研究結果について整理し、知識・技術を総合して解析・考察ができる。 ③研究内容についてプレゼンテーションできる。 ④研究成果を卒業論文としてまとめることができる。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス	16	調査・研究 (5)			
	2	研究テーマの選定	17	調査・研究 (6)			
	3	研究計画の策定	18	調査・研究 (7)			
	4	先行研究の調査 (1)	19	調査・研究 (8)			
	5	先行研究の調査 (2)	20	調査・研究 (9)			
	6	先行研究の調査 (3)	21	プレゼンテーション資料の作成			
	7	プレゼンテーション資料の作成	22	報告会・討議 (2)			
	8	報告会・討議 (1)	23	卒業論文の執筆 (1)			
	9	研究手法の検討	24	卒業論文の執筆 (2)			
	10	調査・研究 (1)	25	卒業論文の執筆 (3)			
	11	調査・研究 (2)	26	卒業論文の執筆 (4)			
	12	調査・研究 (3)	27	卒業論文の執筆 (5)			
	13	調査・研究 (4)	28	卒業論文の執筆 (6)			
	14	中間まとめ	29	プレゼンテーション資料の作成			
	15	中間報告会・討議	30	最終報告会			
授業外学修 (事前学修)	毎回、各回で必要となる情報を収集しておく (毎週 2 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	毎回、問題点や課題を洗い出し考察しておく (毎週 2 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	①研究計画書 ②レポート (研究資料等) ③報告会での発表・討議 ④卒業論文				10% 20% 20% 50%	① ②、③ ②、③ ④	
成績評価基準	秀： (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優： (評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良： (評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可： (評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可： (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	適宜資料等を提示する。						
参考文献	適宜紹介する。						
その他	<注意事項> 出席時間数が授業時間数の 3 分の 2 以上の場合に、成績評価及び単位付与の判定を受ける資格を付与する。						